

信濃町に誇りをもち、次代を担う人材の育成を目指して



Shinano Town, Shinshu

信濃町 <http://www.town.shinanomachi.nagano.jp/>

信濃小中学校 <http://shinano-school.sakura.ne.jp>

信濃小学校

野尻湖、古海、柏原、富士里、古間
昭和47～昭和56年の校舎、体育館

昭和60年 1,079人
児童数 平成23年 440人
平成26年 397人

町の人口 S60 11,909人、H22 9,238人「国勢調査より」

信濃中学校

信濃中学校
昭和44～45年の校舎、体育館

昭和60年 528人
生徒数 平成23年 221人
平成26年 223人

(H27/2/28現在 9,061人)

信濃小中学校

平成24年4月1日 長野県公立学校初
施設一体型小中一貫教育校開校

小学校 H23/S60 40.78%
中学校 H23/S60 41.85%
小中計 H23/S60 41.13%
人口 H22/S60 77.57%

県費職員

	校 長	副校長	教 頭	教 諭	講 師	非常勤 講 師	養 護 教 養	事 務	S C	合 計
23年度	6	0	6	40	9	0	7	6	1	75
26年度	1	1	1	31	8	3	3	2	1	51
合 計	△5	1	△5	△9	△1	3	△4	△4	0	△24

町費職員

	講 師	支援員	校務手	事 務	A L T	図書司書	S C	合 計
23年度	7	7	6	1	2	6	1	29
26年度	9	9	1	1	2	2	1	26
合 計	2	2	△5	0	0	△4	0	△3

町費職員 費用

平成23年度 決算額	講師、支援員、校務手、事務、バス等人件費	70,585千円	特定財源等	7,300千円(過疎債)
平成26年度 決算見込	講師、支援員、校務手、事務、バス等人件費	86,938千円	"	20,000千円(過疎債)

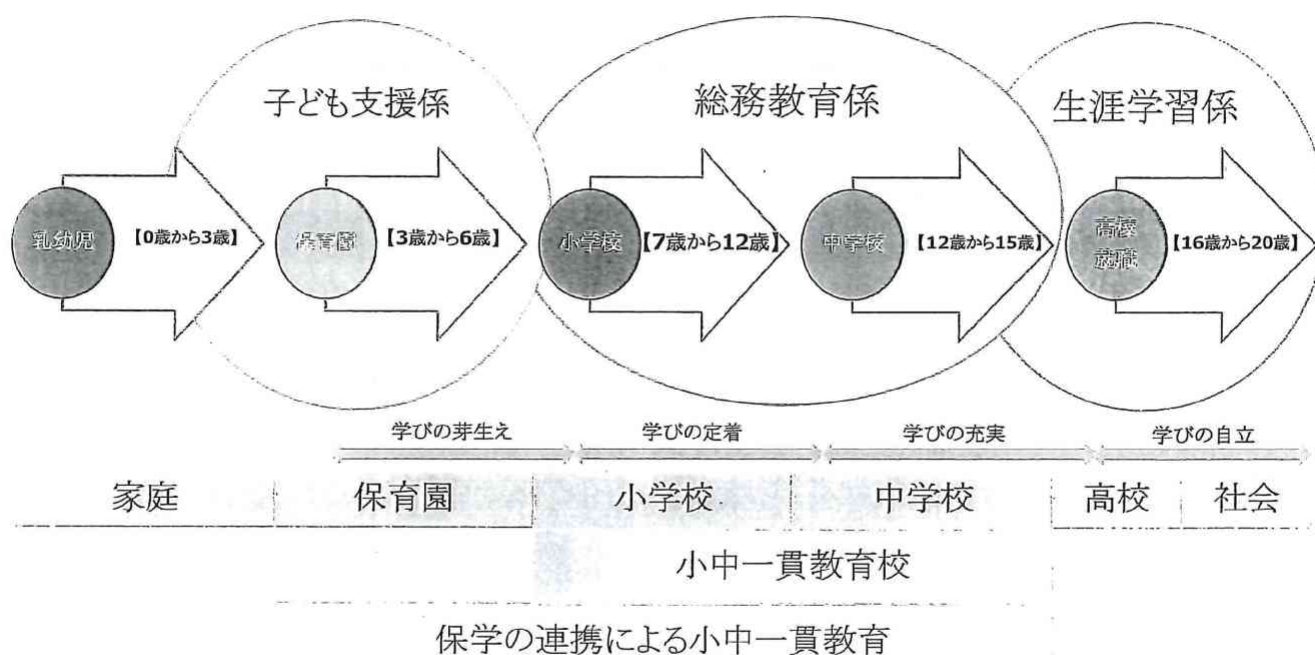
普通交付税基礎数値

	学校数 激減緩和5年	学級数 激減緩和3年	児童数	生徒数	スクール バス	交付税算定 基礎数値	備 考
H23	小5 中1	小29 中8	440	221	2台	143,155千円	
H24	小1 中1	小15 中8	410	226	3台	153,853千円	基礎数値増は、スクールバス台数増による。
H25	小1 中1	小16 中8	401	223	3台	151,894千円	
H26	小1 中1	小16 中8	398	223	3台	137,089千円	
H27	小1 中1	小15 中8	383	226	3台	122,202千円	基礎数値は見込
H28	小1 中1	小14 中8	357	229	3台	109,548千円	基礎数値は見込
H29	小1 中1	小14 中8	347	217	3台	98,024千円	基礎数値は見込 H23対比△45,131千円

学校維持管理費

H20経常経費、H23人件費	5小1中管理費、保健費、通学対策、教育振興、人件費	169,418千円
H26決算見込	1小1中管理費、保健費、通学対策、教育振興、人件費	117,524千円

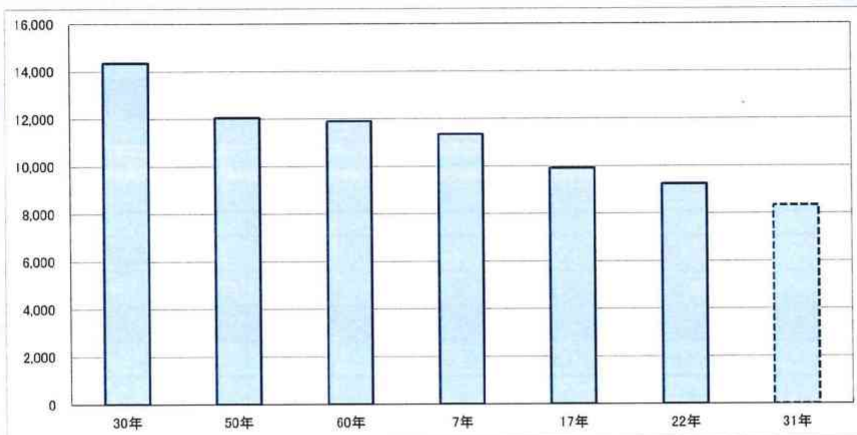
§ 自立のための準備期間を一貫してサポート



自立のための準備期間 = 教育委員会での一貫したサポート



信濃町人口の変遷



年	30年	50年	60年	7年	17年	22年	31年
人口	14,346	12,045	11,909	11,355	9,927	9,239	8,350

※ 31年はコーホート要因法による人口予測

平成27年10月31日現在：8,972人

児童生徒数の変遷

学校名	S50年	S55年	S60年	H2年	H7年	H12年	H17年	H23年	H23/S50
野尻湖 小学校	145	133	140	105	96	88	73	52	35.9%
古 海 小学校	64	45	36	27	34	30	32	6	9.4%
熊 坂 分 校	17	13	18	17	H5閉校				
柏 原 小学校	347	371	406	344	289	193	159	161	46.4%
富士里 小学校	165	193	194	155	145	107	79	80	48.5%
古 間 小学校	268	278	285	208	183	122	124	141	52.6%
小学校 合 計	1,006	1,033	1,079	856	747	540	467	440	43.7%
信 濃 中学校	561	482	528	523	389	353	252	221	39.4%
小 中 合 計	1,567	1,515	1,607	1,379	1,136	893	719	661	42.2%

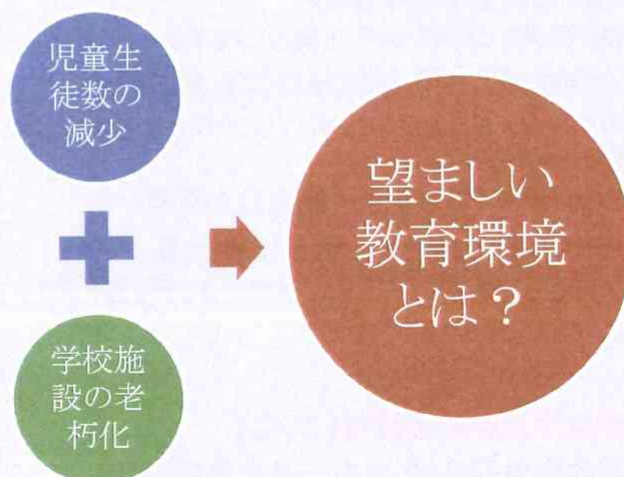
施設の老朽化と耐震性の確保

	野尻湖小		古海小		柏原小	
種 別	校 舎	体育館	校 舎	体育館	校 舎	体育館
建 築	S47年	S47年	S48年	S55年	S53年	S54年
面 積	1,924㎡	612㎡	1,487㎡	630㎡	3,483㎡	969㎡
耐震指数	0.31 3次診断	0.13 22年補強	0.21 1次診断	0.18 22年補強	0.30 1次診断	0.37 22年補強

	富士里小		古間小		信濃中	
種 別	校 舎	体育館	校 舎	体育館	校 舎	体育館
建 築	S50年	S56年	S51年	S51年	S45年	S45年
面 積	2,126㎡	732㎡	2,691㎡	790㎡	5,320㎡	1,277㎡
耐震指数	0.43 1次診断	新耐震	0.18 1次診断	0.14 22年補強	0.188 1次診断	0.37 22年補強

耐震指数：S56年以前の古い耐震基準で建てられた建築物の強さを表すのに使う数値。国土交通省の基準では0・6未満は「震度6強の地震で崩壊、倒壊する危険性がある」、0・3未満は「危険性が高い」とされる。文部科学省は学校の建物は地震時の避難所になることから、より安全な0・7以上に耐震補強するよう求めている。

町が抱えていた学校の課題



5

取り組みの経過

平成16年

3月 町長から教育委員会に対し諮問

「少子化による小学校適正配置の検討」について

4月 信濃町立小学校適正配置検討委員会設置【18人】

11月 各小学校PTA・保育所保護者との懇談会

平成17年

4月 5地区6会場で地区懇談会開催

5月 子育てグループとの懇談会

9月 議会小学校適正配置調査特別委員会設置

12月 適正配置検討委員会答申(本委員会7回小委員会2回)

【現在5校ある小学校を統合し1校とする。】

6

平成18年

8月 信濃町PTA連合会研究集会

「魅力ある信濃町の学校づくり ー統合に向けてー」

9月 議会小学校適正配置調査特別委員会の報告

「信濃町の将来を担う児童のために、住民の合意を得て小学校を統合し、教育環境の改善に取り組むこと」

10月 5地区6会場で学校統合住民懇談会開催

12月 信濃町PTA連合会長から町長に要望書

「小学校統合は、遅滞することなく、進行することを望みます」

平成19年

3月 教育環境検討委員会設置【25名】

9月 信濃町教職員研修会 小中一貫教育の研究

7

平成20年

3月 教育環境検討委員会の最終答申

【現中学校敷地に統合小学校および中学校を統合し建設する。】

【統合小学校および中学校において特色ある小中一貫教育を目指す。】

4月 5会場で住民懇談会開催

5月 6会場で住民懇談会開催

9月 町長 学校統合・小中一貫教育校の建設表明

議会からの政策提言

「信濃町の将来を担う児童のために、早急に小学校を統合し、現中学校敷地に新たな学校を建設するとともに、中学校を改築すること。特色ある小中一貫教育を行うことにより、ふるさとに誇りを持つ子どもを育てる、教育環境を実現すること」

10月 4会場で住民説明会開催

11月 学校建設プランに基づく調査関係補正予算議決

12月 学校づくり委員会設立準備会設置

8

平成21年

- 1月 町長から町民へ「校舎一体型小中一貫教育校」建設表明
平成24年度開校を目指し、現在の中学校敷地に統合校舎を建設する。
- 4月 **学校づくり委員会設置【89人】住民評議員委嘱【28人】**
カリキュラム部会、施設部会、地域参加部会、放課後事業部会、
開校部会、通学対策部会
- 5月 **小中一貫教育校 基本・実施設計契約締結**
- 8月 6会場で住民説明会開催

平成22年

- 2月 信濃町地域公共交通協議会発足
- 3月 **学校づくり委員会答申**
【学校の施設計画・カリキュラム・地域参加による学校運営・
放課後事業・開校・通学対策の具体的方策】
- 3月 **学校建設予算・学校設置条例改正案議決**
- 4月 過疎地域自立促進特別措置法の過疎地域に指定
- 5月 **工事請負契約議決**

9

平成23年

- 4月 **信濃小中学校開校準備委員会設置**
- 6月 **開校準備委員会とPTA役員との懇談**
- 7月 特別支援教育のあり方検討委員会設置
- 7月 各小中学校で保護者説明会開催
- 7月 住民説明会開催
- 8月 各保育所で保護者説明会開催
- 8月 学校運営協議会設立準備会設置
- 9月 小学校跡地利用検討委員会設置
- 10月 各小学校閉校式・式典開催(11月まで)
- 11月 **開校準備委員会と設立準備会・PTA役員との懇談**
- 11月 4会場で保護者説明会開催
- 12月 **新校舎・体育館完成 中学校引越、生徒供用開始**
小学校跡地利用検討委員会答申

10

平成24年

2月 豪雪による災害救助法の適用

3月 5小学校閉校

小学校引越

4月 信濃町立 信濃小中学校開校

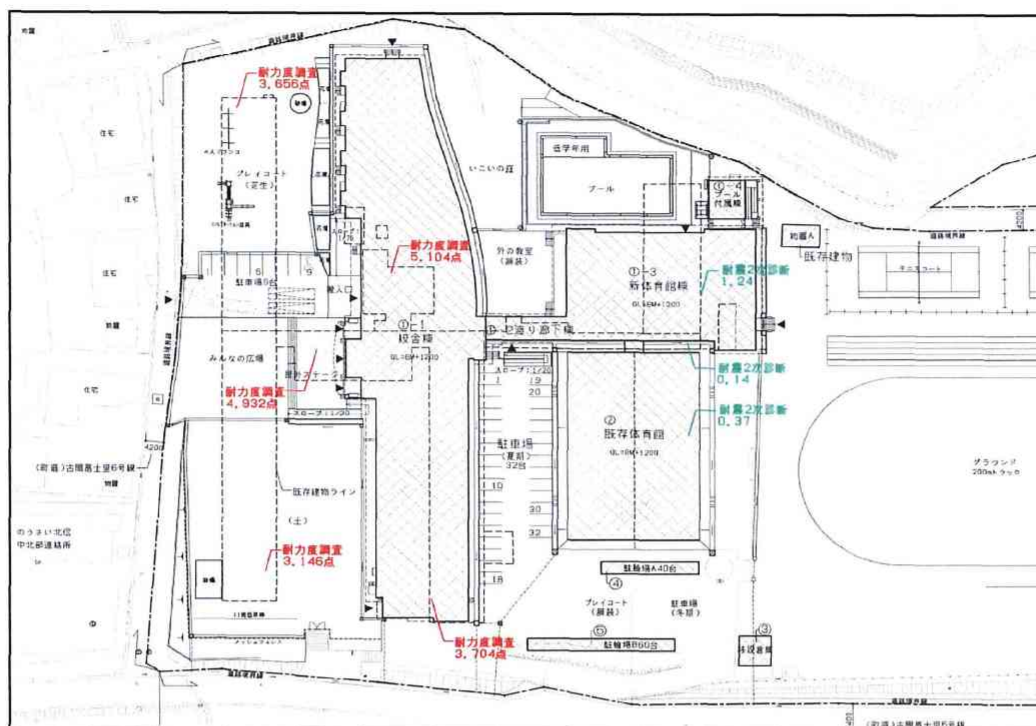


1年生と9年生が
手をつないで
入学式の入場

11



平成21年9月解体前













施設（部屋等）

地域交流ホール	異学年の子どもたち、教職員、保護者、地域の方とさまざまな交流をするスペースとして、学校の中心に設けた。 地域材を積極的に使用。アカマツ、カラマツ、ヒノキ、スギ
ティーチャーズ ステーション	休み時間に先生と、児童生徒が交流を深めたり、子どもたちが先生に気軽にわからないところを聞けたりできるように。また、先生が授業の準備がスムーズにできるよう3階の中心に設けた。
職員室	小中共有の職員室にすることにより、児童・生徒に関する情報交換や、教職員の意思疎通が容易にできるように。
保健室	小中ひとつで広い部屋とし、中はカーテンで仕切れるよう入口を2箇所設け、子どもたちの発達段階や心理的負担を軽減。9年間の成長の記録、健康管理を行う。救急車が横付けにできるよう東側に配置。
ラーニング センター	異学年の子どもたちが交流し、自ら学び活動するゾーンとして図書館、PC、放送室等を2階中心に設けた。
芸術系室	感性が豊かになるよう、黒姫山、妙高山を望める位置に設けた。
技術・音楽室	大きな音が出る教室は、新体育館棟に設けた。
新体育館	新体育館に音楽室を併設し、可動間仕切りにより大ホールとして使用でき、文化・芸術活動の場として利用も可能。
普通・多目的	普通教室の並びに、多目的室を配置し、様々な活動に対応できるよう柔軟性のある環境とした。

25

施設（環境対応等）

気候対応	建物全体を断熱材で包む、外断熱の採用 ・外気温がコンクリートに与える影響の減少 ・風雨が直接コンクリートに触れないため、建物の長寿命化 ・暖房用エネルギーの削減、結露抑制 高遮熱ペアガラスの採用 高断熱、結露にくい樹脂サッシの採用 出入り口上部に、雪庇防止柵の設置 屋根の雪下ろしが不要な暖勾配な屋根 将来、空調機器の設置対応可能なように、スリーブの設置
環境教育	新体育館棟壁面に、10kw太陽光パネルの設置 図工室にベレットストーブの設置 トイレ洗浄、外回りの散水に井戸水の使用
地域材の利用	床材・・・一部信濃町産アカマツフローリング 腰壁・・・ヒノキ縁甲板（町民の森） 天井・・・一部ヒノキ板（町民の森） パーテーション・・・カラマツ集成材（富士里学校林）
ユニバーサル デザイン	怪我をした子どもが学校で困らないような、エレベーター、多目的トイレの設置 家具・設備は、子どもの体格差に配慮し、階層ごとに高さに変化 各ゾーン毎に色に変化をつけ、自分の居場所がわかるように

26

信濃小学校				信濃中学校				信濃小中学校			
野尻湖、古海、柏原、富士里、古間 昭和47～昭和56年の校舎、体育館				信濃中学校 昭和44～45年の校舎、体育館				平成24年4月1日 長野県公立学校初 施設一体型小中一貫教育校開校			
昭和60年 1,079人				昭和60年 528人				小学校 H23/S60 40.78%			
児童数	平成23年 440人			生徒数	平成23年 221人			中学校 H23/S60 41.85%			
	平成27年 377人				平成27年 227人			小中計 H23/S60 41.13%			
町の人口 S60 11,909人、H22 9,238人「国勢調査より」 (H27/7/31現在 8,983人)								人 口 H22/S60 77.57%			

県費職員										
	校 長	副校長	教 頭	教 諭	講 師	非常勤 講 師	養 護 教 養	事 務	S C	合 計
23年度	6	0	6	40	9	0	7	6	1	75
27年度	1	1	1	32	8	3	3	2	1	52
合 計	△5	1	△5	△8	△1	3	△4	△4	0	△23

町費職員								
	講 師	支援員	校務手	事 務	A L T	図書司書	S C	合 計
23年度	7	7	6	1	2	6	1	29
27年度	8	9	1	1	2	2	1	24
合 計	1	2	△5	0	0	△4	0	△5

町費職員 費用							
平成23年度 決算額	講師、支援員、校務手、事務、バス等人件費				70,585千円	特定財源等	7,300千円(過疎債)
平成26年度 決算見込	講師、支援員、校務手、事務、バス等人件費				86,938千円	"	20,000千円(過疎債)
普通交付税基礎数値							
	学校数 激減緩和5年	学級数 激減緩和3年	児童数	生徒数	スクール バ ス	交付税算定 基礎数値	備 考
H23	小5 中1	小29 中8	440	221	2台	143,155千円	
H24	小1 中1	小15 中8	410	226	3台	153,853千円	基礎数値増は、スクールバス台数増による。
H25	小1 中1	小16 中8	401	223	3台	151,894千円	
H26	小1 中1	小16 中8	398	223	3台	137,089千円	
H27	小1 中1	小15 中8	377	22728	3台	122,202千円	基礎数値は見込
H28	小1 中1	小14 中8	357	229	3台	109,548千円	基礎数値は見込
H29	小1 中1	小14 中8	347	217	3台	98,024千円	基礎数値は見込 H23対比△45,131千円
学校維持管理費							
H20経常経費、H23人件費	5小1中管理費、保健費、通学対策、教育振興、人件費				169,418千円		
H26決算見込	1小1中管理費、保健費、通学対策、教育振興、人件費				117,524千円		

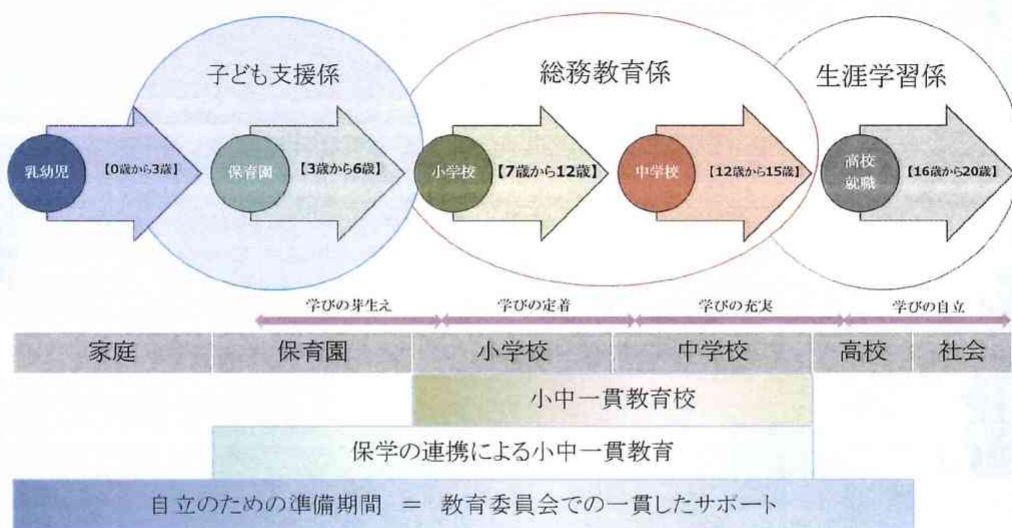
28

平成27年度各学年のクラス数及び人数

1 学年	1組 29人	2組 27人		計 56人
2 学年	1組 20人	2組 20人	3組 21人	計 61人
3 学年	1組 24人	2組 24人	3組 23人	計 71人
4 学年	1組 26人	2組 25人		計 51人
5 学年	1組 24人	2組 25人		計 49人
6 学年	1組 23人	2組 26人	3組 25人	計 74人
7 学年	1組 25人	2組 24人	3組 25人	計 74人
8 学年	1組 33人	2組 32人		計 65人
9 学年	1組 26人	2組 26人	3組 26人	計 78人
特支	知 障 小 5人	中 3人		計 8人
	自情障 小 10人	中 7人		計 17人
				総計604人

29

§ 自立のための準備期間を一貫してサポート



通学対策

信濃町地域公共交通協議会との連携

- **路線バス 7 路線**
 - 朝 2 便 7 時台、8 時台 学校着
 - 夕 3 便 15 時台、16 時台、18 時台 学校発
- **スクールバス 3 路線** 路線バス定員超え分 3 台所有
 - 朝 1 便 8 時台 学校着
 - 夕 2 便 15 時台、16 時台 学校発
- **タクシー送迎 1 路線** 古海地区 ジャンボ、普通
 - 朝 2 便 7 時台、8 時台 学校着
 - 夕 3 便 15 時台、16 時台、18 時台 学校発

徒歩通学 初等部 2 km 以内 高等部 3 km 以内
 7 ～ 9 年生 3 km 以上夏季自転車通学

31



32

廃校になる校舎等の活用

共通事項

- ・ プール

管理上危険なため取り壊す。

- ・ 門柱、石碑、記念樹等

学校跡地として記憶を残すよう配慮する。

- ・ その他

各校に残る貴重な資料、財産は、保存する場所を定め適正な維持管理をする。

33

信濃町立野尻湖小学校

校舎： ナウマンゾウ博物館と一体利用（資料保管庫）
体育館： 社会体育施設、避難所として利用
グラウンド： 社会体育施設、博物館の駐車場として利用

34







地域交流施設（古間支館）

